

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

トヨタファイナンス株式会社（証券コード：－）

【据置】

長期発行体格付	AAA
格付の見通し	安定的

■格付事由

- トヨタファイナンス（TFC）は、トヨタ自動車（トヨタ）グループの国内販売金融子会社。販売金融やクレジットカードなどを展開している。トヨタは金融統括会社であるトヨタファイナンシャルサービス（TFS）を通じて TFC の議決権を 100%保有しており、取締役はトヨタ出身者が多くを占める。経営の意思決定や経営管理における一体性は高い。TFC はトヨタの販売支援を担うなどグループにおいて重要な位置付けにある。また、トヨタは TFS を介して TFC の資本維持・流動性補完などを記したクレジットサポートアグリーメントを締結しており、トヨタの支援意思が示されている。以上を踏まえ、TFC の長期発行体格付は、トヨタのグループ信用力「AAA」相当と同等としている。
- 販売金融に関しては、トヨタの新車販売力を強みに市場地位・競争力が極めて高い。クレジットカードにおいては、約 1,500 万人の会員を抱えるなど業界準大手クラスの会員基盤を有する。販売店向けの融資や、連結子会社の MOBILOTS を通じて日野自動車の商用トラック・バスのリースも展開しており、多様な収益源を持つ。堅固な事業基盤を背景に収益力は比較的高い。主力の販売金融では、半導体供給不足などを受けたトヨタ車の国内新車販売台数の減少により、信用保証残高が伸び悩んでいるが、収益は安定している。クレジットカードではコロナ影響から取扱高が順調に回復している。業容拡大に伴う販売促進費やデジタル投資にかかる電算機費などが増える中でも、底堅く利益を確保している。
- 資産の質の健全性は高い。与信運営方針は堅実であり、抱える信用リスクは小さい。信用保証、クレジットカードなどの主要な営業資産は小口分散が効いている。延滞債権比率や貸倒償却率は低位にあり、引当金も保守的に積み立てられている。販売金融では残価設定型クレジットを推進しているが、抱える残価リスクは限定的である。資本充実度は十分な水準にある。JCR 調整後の自己資本比率やリスク対比の資本の余裕度に問題はない。流動性に特段の懸念はない。間接調達・直接調達ともに安定しており、ALM も適切に運営されている。

（担当）坂井 英和・浅田 健太

■格付対象

発行体：トヨタファイナンス株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AAA	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2023 年 1 月 11 日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩
主任格付アナリスト：坂井 英和
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014 年 1 月 6 日) として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014 年 11 月 7 日)、「クレジットカード・信販」(2022 年 6 月 21 日)、「企業グループの傘下会社の格付方法」(2022 年 9 月 1 日) として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) トヨタファイナンス株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官(格付)第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル